



本物を見に行こう！

皆さんは、埴輪や土器などを実際に見たことがありますか。教科書でしか見たことがない方が多いのではないのでしょうか。本庄早稲田の杜ミュージアムでは、教科書には載っていない、埴輪の後ろ姿や土器の中、その質感などを見て感じることが出来ます。

2万以上前から本庄には人が住んでいました。その先人たちが製作した数々の遺物を間近で見ることが、新たな発見や写真では感じられない感動があるかもしれません。

また、早稲田大学展示室で展示される文化財は、国内のみならず世界各国の文化を知ることが出来る貴重な品々です。その文化財を間近に見ることが出来る、大変貴重な機会ではないでしょうか。

知ってこそ知らない地元

新型コロナウイルス感染症が拡大する以前は、遠方の観光地やミュージアムを気軽に楽しむことが出来ました。しかし、昨今の状況により遠方への外出をためらう方が多いのではないのでしょうか。そんな時だからこそ、身近にあるものに改めて関心を持ち、楽しんでみてはいかがでしょうか。

刻まれた歴史と文化を感じ、皆さんの知らない本庄が、本庄早稲田の杜ミュージアムで見つかるかもしれません。

NEW TOPICS

煉瓦倉庫で中山道関連資料の常設展示を開始

これまで、歴史民俗資料館で展示してきた中山道に関連した資料を、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫で展示します。お気軽にお立ち寄りください。

展示開始 10月15日(休)から (常設展示)
場所 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫 1階展示スペース

入場料 無料
 ★本庄早稲田の杜ミュージアム ☎71-6 8 7 8

《旧本庄商業銀行煉瓦倉庫について》

開館時間 午前9時～午後7時
休館日 12月29日～1月3日
問合せ ☎71-6 6 8 5

本庄早稲田の杜 地域連携展示会 2020

本庄市・美里町・神川町・上里町・深谷市・早稲田大学が連携し、「室町・戦国期の児玉・深谷地域」と題し、各地域から出土した考古資料を展示します。期間限定企画ですので、ぜひご覧ください。

日程 10月15日(休)～12月20日(日)
 ※開館時間、休館日は本庄早稲田の杜ミュージアムと同様。

場所 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター (早稲田大学93号館) 2階情報資料室

入館料 無料
 ★本庄早稲田の杜ミュージアム ☎71-6 8 7 8

本庄市展示室

はにわ 埴輪の世界

古墳時代にタイムスリップ

本庄では3世紀後半～4世紀前半にかけて古墳が築かれはじめます。

4世紀後半になると埴輪が現れ、5世紀には人物や馬などが表現されるようになります。



6世紀になると、笑う人物や鞆(矢を入れる道具)などの埴輪が作られました。ここでは市内の古墳から出土したさまざまな埴輪を展示しています。

C 本庄の歩み

本庄に人々が暮らし始めた約2万年以上前の旧石器時代から、16世紀の室町時代までの出土資料を展示して本庄の歴史を紹介します。さらに、年表や映像等で現代までの歴史をたどります。



D 早稲田大学展示室

早稲田大学は、500万点以上の美術品、書画、博物資料、図書資料、映像資料などを所蔵しており、これらの文化資源の公開と活用に積極的に取り組んでいます。この展示室では、オセアニア民族造形美術品をはじめ、大学が所蔵する貴重な文化財を中心とした企画展示を行います。



来館者の皆さんへお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱等体調がすぐれない方は来館をお控えください。

入館の際は、マスクの着用や手指の消毒、入館者カードの記入をお願いします。また、状況により入場をお待ちいただく場合があります。

詳しくは、本庄早稲田の杜ミュージアムホームページ (<https://www.hwmm.jp/>)、市ホームページ等でご確認ください。

ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。